



松江市・水郷祭

近畿島根県人会  
だより  
第98号

令和5年  
8月10日発行

島根県西部の石見地域は、三州大瓦の生産量を誇る日本第三位の生産量を誇る島根の伝統産業です。

石見地方の町並みは、色瓦を用いた特徴的な赤茶色の屋根が、四百年前に遡り、歴史は古く四百年前に遡ります。

「水を通さず、凍てつかさ、塩害に強くない」と、先人たちの知恵と努力により、家を守る屋根材に求められる条件を高水準でクリアし、国内最高峰の瓦が永く受け継がれてきました。



江津市波子町並み

良質な石州瓦の土、技術力、焼成温度一二〇〇度以上の高温で焼き締め、強固な粘土瓦（陶器瓦）は、圧倒的な性能で住まいの表情を際立たせ、美しいデザインも不要な逸品です。

さらに現代の成熟した住宅市場で求められる要素としての意匠性、省エネ機能も備えています。

よく知られている定番のJ形（和形）、洋風なデザインのS形、現代の需要の高いフラットなF形、壁や壁を彩る敷き瓦、さらには食器類に至るまで多様な多彩なバリエーションを展開するとともに、他の屋根材と比較して断熱、防音に優れた性能から住まいの省エネに貢献します。



壁瓦

焼きものならではの質感が造る瓦の美。



瓦食器

強く長く使えることが家族を守り、社会のためになり、環境の美しい風景をつくりたい。

今後、耐久性に優れた瓦の普及や次代への創意工夫の継続を果たして、瓦の役割を果たしていきま

島根が世界に誇る石州瓦。

島根のものがづくりへの想いは永遠。

ふるさと島根の豊かな自然の中で、瓦ものがたりは紡がれます。





**SEKISYU KAWARA TILE**  
Made in Shimane

強さは美しさ。  
だから私の選択は  
石州瓦。

屋根の学校

Instagram

Webサイト



名品は永遠

**石州瓦工業組合**

〒695-0016 島根県江津市嘉久志町イ405  
TEL(0855)52-5605 FAX(0855)52-0766

# 日本酒造りは神秘的で魅力的な世界

日本酒の世界は魅力的です。

酒蔵に生まれながらもその魅力には当初、気づかず、地元の窮屈さを理由に、進学のタイミングから京都に逃亡した私ですが、社会人4年目の時、出雲に戻ることに、家業に向きあうことになっていきます。当初は思いがけないUターンに絶望の淵状態でしたが、日本酒が生まれてくる醗酵の現場を身近で感じたり、その日本酒を通して、いろいろな方が楽しみ繋がっていく様子を知ると、これは貴重な境遇なのだと思いついていきました。



泡の増殖と香り  
醗酵のモコモコと漂う  
酵母がふわふわ

原料は米。デンブンの塊です。それを磨いて、洗って、蒸して、麴菌に活躍してもらい、麴を造る工程があります。が、半透明だった蒸米が、麴菌の繁殖で、温度の上昇と共に美しい白色に変化していく様子は、生きている！を実感する時です。

そして、その麴菌が麴の中に生み出してくれた酵素が米のデンブンを醗（もろみ）の中で甘く分解し、それを醗酵の主役「酵母」が食べてアルコールとガスが生まれる。そして、一ヶ月前後をかけて日本酒の味わいが整っていくのです。



温度が増えたり混ぜたりする  
蓋を上げて、時々調整  
麴菌の繁殖も温度の調整

でも、この微生物たちの活躍により、醗酵が進み、甘かった醗がだんだんと日本酒の味に変わっていく姿は美しくもあり、神秘的でもあり、何とも魅力的なのです。

こうやって生まれた日本酒は、フレッシュな生で楽しむこともあれば、加熱処理をして落ち着いた味わいを楽しめる商品もあります。さらには何年も寝かせて深みを増した熟成酒や、伝統的な生酛造りで味に幅があるタイプも存在します。

現代では、数えきれない種類、タイプの本日本酒が豊富に揃います。飲み手としては

最高の時代と言えるかと思えます。器や温度を変えると、味わいの表情も変わりますし、料理との合わせ方ひとつで、より感動が増すこともあります。

島根県は奈良や伊丹と並んで日本酒発祥の地と言われていますし、神々にも見守られていると実感できる土地でもあります。

ぜひ、気軽に、そして柔軟に日本酒をお楽しみください。

特に島根県の日本酒を見かけたらぜひ味わってみてくださいね。



生酛の酛摺りの様子

私も神々や微生物に感謝しながら、しなやかにたおやかに、喜びを感じられる酒造りを続けたいと思います。

【お問い合わせ】  
旭日酒造有限公司 寺田 栄里子  
TEL..085312110039  
〒69310001島根県出雲市今市町662  
(サンロード中町内)

# 全国から注目されるアジサイ産地に 「島根県アジサイ研究会」

近年の花業界では、5月の母の日のシーズンに回る『島根のアジサイ』が注目を集めています。従来のアジサイには見られない、独創的な花色を特徴とするオリジナル品種が次々と出荷されているためで、これまでNHK「趣味の園芸」をはじめ、様々なメディアでも紹介されました。

島根オリジナル品種のアジサイは島根県が育成し、生産者とともに選抜した品種で、「万華鏡」、「美雲」、「銀河」、「茜雲」、「星あつめ」、そして令和6年春から本格出荷を予定する新品种「月うさぎ」の6品種があり、今後も新しい品種が出荷される予定です。

実は島根県のアジサイ産地は、品種も技術も無く、ゼロから産地づくりがスタートしました。島根県は昭和の時代からシクラメンを中心とした西日本有数の鉢花産地ですが、平成10年頃から景気の変化により需要が低迷し、鉢花経営は苦境に立たされました。そこで県では島根の気候に合い、母の日の需要に対して市場開拓が期待できるアジサイに注目し、新品种の育成とともに産地づくりをスタートしました。

産地が飛躍する契機となったのは平成22年で、アジサイ生産に意欲的な仲間達6名が集まって「島根県アジサイ研究会」を設立し、技術向上に励み、共同で生産から出荷販売まで取り組むようになってからです。現在、研究会員は県内各地に広がり、17名に増えています。

島根オリジナル品種のアジサイは非常に人気が高く、需要に生産が追いついていない状況です。令和6年産をお求めの際はぜひお近くの生花店でご注文いただくか、またはネット通販での購入をご検討ください。  
\*令和5年産の「万華鏡」がふるさと納税返礼品として取り扱われました。詳細は各自治体窓口へお尋ねください。



万華鏡



美雲



星あつめ



銀河



月うさぎ



茜雲

【お問い合わせ】  
島根県農業技術センター  
技術普及部 産地支援技術普及課  
TEL...085312216942

# 隠岐の神楽

## 隠岐に伝わる神楽を紹介します

島根県の神楽というと、石見や出雲の神楽が有名ですが、隠岐にも神楽が伝わっています。隠岐諸島の中では西側の3島が島前（西ノ島町、海士町、知夫村）、東の1島が島後（隠岐の島町）となり、多くは島ごと、もしくははもつと小さな地域ごとに文化が育まれてきました。そのため神楽も、島前3島による「島前神楽（どうぜんかぐら）」、島後の西半分による「穩地神楽（おちかぐら）」、島後の東半分による「周吉神楽（すきかぐら）」に分かれます。

3つの神楽は、音楽や構成にそれぞれの特徴があり、一概に「隠岐の神楽」ということは難しいです。江戸時代までは島前神楽、穩地神楽、周吉神楽のそれぞれに「社家（しゃけ）」と呼ばれる家があり、地域ごとに神楽の担い手として活動していました。当時は地域の年中行事だけでなく、病気平癒の祈願や雨乞いなどのために随時行われていました。また、時には島内で協力して神楽を行うこともあり、江戸の役人が隠岐に来島する際に、その航海安全を祈るために、穩地神楽と周吉神楽の社家が合同で神楽を行ったことが伝わっています。



久見神楽

明治時代以降は社家が神楽を担い続けることは難しくなったため、地域の有志が社家から神楽を習い、継承するようになりました。

島根県内のほかの神楽に比べると、隠岐の神楽は素朴で古風な神楽であると言われています。現在、隠岐の島町では、穩地神楽の久見神楽が7月16日（もしくは15日）に、周吉神楽の西村神楽が8月14日に、各地域の有志により夜を徹して行われています。ぜひ一度ご覧ください。



西村神楽

【お問い合わせ】

隠岐の島町教育委員会

社会教育課  
文化振興係

TEL... 0851212126  
FAX... 0851212106

# こんにちは 関西川本会 です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。  
第三十三回は、「関西川本会」のご紹介です。



関西川本会  
会長 新谷 育夫

川本町（かわもとまち）は島根県のほぼ中央に位置し、古くは中国地方最大の河川で中国太郎の異名を持つ「江の川」の水運と石見銀山の玄関口として栄え、石見地方の要所として発展しました。過去には何度も氾濫した江の川も普段は穏やかで、緑豊かな光景が広がります。また、川本町は吹奏楽が盛んで昭和の時代には川本高校（現島根中央高校）吹奏楽部がNHK合奏コンクール全国大会で優勝に輝いたこと等から「♪緑にこだます音楽の里♪」を宣言し、町内には県内屈指の音楽ホール「悠昌ふるさと会館」が有り、吹奏楽の歴史は今に引き継がれています。また、吹奏楽を語る時、これは創成期の川本中学／川本高校両先生の熱意と地域社会のご支援による成果と認

識しています。

さて、関西川本会は平成5年に設立され、約30年の歴史ある故郷会で「かけはし」でのご紹介は2回目となります。ここ3年はコロナ禍により総会を中止しましたが、令和5年は同郷の皆様方とひとときを過ごす為に第27



江の川と川本の町並み

回関西川本会総会&親睦会を開催し、川本町から町長、議会、商工会、観光協会、役場関係者に来阪頂き、また、島根県大阪事務所、近隣故郷会（江津、美郷、邑南）、島根中央高校卒業生会等からご支援頂きました。

総会の場は中学あるいは高校の同窓会の場ともなり、50年振りの再会に歓喜の声を上げられた方も有りました。これからも総会の場を色々な形で利用して頂きたいと思

います。ただ、どちらの故郷会も同じ悩みと推察しますが、コロナ禍の3年のブランクは大きく、会員の高齢化が進んで出席者は想定以上に減少し、来年度以降の課題は明確になりませんでした。今後は会員数の拡大を図るべく川本町との連携を深め、若い世代に関西

川本会の存在を広くPRして参ります。また、石見人・川本人の心の中には“石見神楽”が深く根付いており、来年こそ優雅で迫力ある石見神楽を皆さんと共に楽しみたいと思います。



R5.6.11 第27回関西川本会♪ふるさと♪合唱

## 【お問い合わせ】

関西川本会 事務局長 谷 和泉

TEL..0774-17618085

〒619-1127 京都府木津川市南加茂台

10-6-3

# 島根県大阪事務所からのお知らせ

## イベント情報

### 【中四国9県観光物産展】

島根県では、海の幸や山の幸などを販売します。是非、お立ち寄りください。

(日時) 9月23日(土)・24日(日)

(場所) 10時～18時  
みのおキューズモールEAST

### 【ご当地キャラ博2023】

しまねっこと島根県の観光を紹介します。是非、お立ち寄りください。

(日時) 10月21日(土)・22日(日)

(場所) 9時～15時  
プロシードアリーナHIKONE

### 【ツーリズムEXPOジャパン】

世界中の国と地域、日本全国の観光地が集結する年に一度の世界最大級の旅の祭典。島根県では、伝統芸能や銀探などを予定しています。是非、お立ち寄りください。

(日時) 10月28日(土)・29日(日)

(場所) 10時～18時  
29日は17時まで  
インテックス大阪

※詳細は、大阪事務所公式ツイッター(関西しまね推し)にてご確認ください。

# 近畿島根県人会事務局 からのお知らせ

【第61回故郷応援団くふるさとがご縁を結ぶ近畿島根県人会へ開催のお知らせ】

今年、出雲市・雲南市・飯南町の特色を生かした県人会です。

(日時) 11月11日(土)

11時～14時半

(場所) ホテルニューオオタニ大阪

会員だけでなくどなたでもご参加いただけますのでみなさん、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください!

お待ちしております!  
なお、ご案内は、8月中旬にお送りいたします。



第60回総会(昨年)の様子



### 【近畿島根県人会 会員募集】

お知り合いの方で当県人会にご興味ある方がおられましたら、事務局までご連絡ください。活動内容や入会方法等をご説明します。※市町村会の方で、県人会未加入の方へ、ぜひお声がけ願います。

### 【近畿県人会ホームページのご案内】

近畿島根県人会ホームページでは、近畿島根県人会の紹介、活動報告、市町村人会・県人会、お知らせ、イベント情報、縁結び美味しまね認証店等を掲載しております。

※ぜひ、ホームページもご覧ください。



近畿島根県人会  
ホームページQR  
コード

### 【異動の連絡】

住所・連絡先等に変更がございましたら、近畿島根県人会「会報」巻末の『異動通知連絡票』にご提出ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

### イベント開催報告

各種イベントに多数ご来場いただき有難うございました。



中四国9県観光物産展  
ららぽーと堺  
令和5年5月20日(土)・21日(日)



神戸まつり  
JR三ノ宮から元町界限  
令和5年5月28日(日)